

ICU/HCU転棟収益シミュレーションが「Medical Code」で可能に！

～ 看護必要度の該当患者割合への影響も同時に可視化 ～

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 岩崎博之）は2018年11月28日（水）から、急性期一般入院料（特定、専門も含む）を算定した患者に対し、ICU/HCUへ転棟した場合の増収額と、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度（以下、看護必要度）の該当患者割合の変化をシミュレーションできる新機能を、病院向け経営支援システム「Medical Code」に追加することをお知らせいたします。

【サービス提供の背景・概要】

診療単価を上げる取り組みのひとつとして、重症患者が入院するための病床であるICUやHCUなどを新設・増床するという手段があります。しかし、転棟による急性期一般入院料等の看護必要度の該当患者割合への低下を考慮する必要があります。ICU/HCUの新設・増床に踏み切ったとして、適切な費用対効果が得られるかの判断は非常に難しいといえます。

このような背景から、「Medical Code」にICU/HCUへ転棟した場合の増収額をシミュレーションする機能を追加しました。一般病棟用の看護必要度の評価票をICU/HCU用の評価票に置き換え、該当基準（ICUはA票4点かつB票3点以上、HCUはA票3点かつB票4点以上）を満たせば転棟可能と判断。転棟による特定入院料の増収額と看護必要度の該当患者割合の変化をシミュレーションします。さらにICU/HCUの「想定する病床数」と「一般病棟で維持すべき該当患者割合の最小値」を設定することが可能です。ICU/HCUの1日あたり患者数を日別に確認できるため、新設・増床をどうするか判断だけでなく、すでに稼働中のICU/HCUに大幅な機会損失がないか、収益面から効率的な病床運用をチェックできます。

「Medical Code」の商品紹介サイトのQRコード

【提供内容詳細】

- 提供開始日 : 2018年11月28日（水）
- 提供形態 : 「Medical Code」シミュレーションメニューの追加機能として提供
- 利用料金 : 無償 ※当該機能は当社の病院向け経営支援システム「Medical Code」に追加される機能であり、新たな料金は発生いたしません。

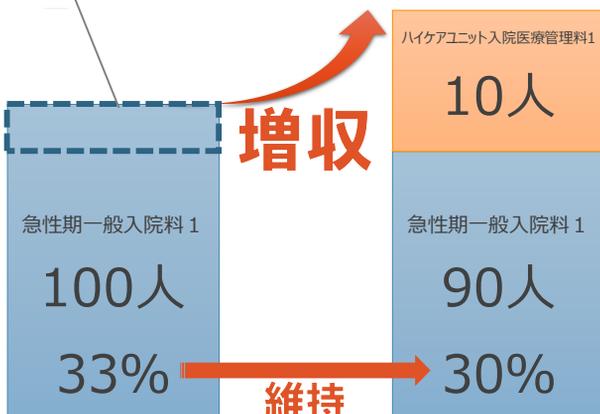


< 「Medical Code」追加機能概要 >

一般病棟用の看護必要度の評価票をICU/HCU用の評価票に置き換え、該当基準（ICUはA票4点かつB票3点以上、HCUはA票3点かつB票4点以上）を満たせば転棟

< 「Medical Code」追加画面機能イメージ >

想定する病床数と一般病棟にて維持すべき該当患者割合の最小値を設定し、その範囲内で転棟患者数を調整して見込み増収額を把握することができます。



病床数と一般病棟の該当患者割合による調整

調整	ICU病床数	HCU病床数	一般病棟の該当患者割合
手入力値		12	30.00%

ICU病床数/HCU病床数 : 入力した値を1日あたり患者数の上限として調整します。
 該当患者割合 : 一般病棟において維持すべき最小値として調整します。

増収額	ICU	HCU	計
増収額		¥43,103,320	¥43,103,320
転棟可能患者のべ数		896	896

一般病棟 看護必要度の変化	試験前	試験後
一般病棟入院患者のべ数	16,154	15,258
該当患者のべ数	5,513	4,617
該当患者割合	34.13%	30.26%

■1日あたり患者数 サマリ	ICU		HCU	
	試験前	試験後	試験前	試験後
最大値		0	0	12
最小値		0	0	0
平均値		0.00	0.00	9.74
中央値		0.00	0.00	11.00

1日あたり患者数 (調整後) 日別内容確認

患者日別試算結果ダウンロード

< 本件に関するお問い合わせ先 >

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報 : 君塚・皆川・赤羽
 MAIL : pr@mdv.co.jp TEL : 03-5283-6911 (代表)